

第 149 回 2024 年 8 月科学技術者フォーラム交流会 報告

1. 日時: 8 月 3 日(土) 14:00~16:30
2. 場所: 小石川後樂園 涵徳亭 広間
3. 参加者: 14 名
4. 講演: 「大名庭園について」 ~小石川後樂園を含む大名庭園を世界文化遺産に~
5. 講演者: 本多 忠夫 氏(小石川後樂園庭園保存会・理事長)

6. 講演内容(概要):

A. 自己紹介

B. 庭園の紹介:

- ・小石川後樂園は、1629 年(寛永 6 年)に水戸徳川家の祖である頼房が、その中屋敷(のちに上屋敷になる)に造ったもの。
- ・二代藩主の光圀の代に完成した。中屋敷として使われた。小石川邸が上屋敷となったのは、1657 年(明暦 3 年)。
- ・伝統的自然感を反映した「回遊式築山泉水庭園」。西欧の人工庭園とは異なる。
- ・73ヶ所の鑑賞地点 水戸黄門ゆかりの名園
- ・世界文化遺産への登録推進活動。文京区地域の江戸(近世)文化遺産として。
- ・周辺高層ビル等などの対する景観保存活動。

C. 庭園内の案内:

築地塀を巡り、東門へ、内庭池、唐門跡、木曾山、白雲台、紅葉林を抜けて西行堂跡へ、唐崎の末、枝垂れ桜、蓮池、西湖、渡月橋、屏風岩、――東門まで小一時間、多少涼しくなって良い散策でした。

7. 所感

今回はいつもの交流会とは異なり、長年にわたって支援されてきた「小石川後樂園」を世界文化遺産にしてもらおうと活動を進めておられる本多忠夫さんの現地にてのお話。自分の生い立ちから始めて現在に至るまでの経緯を熱く語られ、その後実際に日本庭園を案内して頂く事になり、大変感銘を受けました。是非とも実現に至るための支援、応援をしたいと思えます。

私自身は、はじめての訪問でしたが、庭園のあちこちに、創設者徳川頼房、そして後継者であるあの光圀公の遊び心が見られ大変興味を惹かれました。このような素敵な庭園が末永く引き継がれてゆくためにも世界文化遺産の登録がなされることを祈ります。 山岸 任(記)